

第2学年国語科学習指導案

児童 男子 11名 女子 12名 計 23名
指導者 大内 智佳子

- 1 単元名 だいじなところに気をつけて読もう
教材名 「サンゴの海の生きものたち」 (説明文)

2 単元について

(1) 児童について

児童は国語の学習では新出漢字を学習することや、音読をすることが好きな児童が多く、漢字の書き取りなどの宿題は忘れずにやってくる。1学期は「たんぼぼのちえ」で、時間的な順序に気をつけて読むことを学習した。文章中の時間・様子・理由の部分にサイドラインを引き、学習プリントに書き入れるなどして、たんぼぼの仲間を増やす知恵を読み取る学習をしてきた。大事な言葉に着目して意味を捉えることができるが、理解の能力には個人差が大きい。

この単元に関する調査をしたところ、海の生き物について知っていることは何か尋ねると、魚の名前を答えた児童が多かった。知っている魚はマグロ、クラゲ、タイ、イルカ、スズキなど 11種類ほどでクマノミについては、アニメーションで知っている児童がほとんどであった。イソギンチャクも物語文などでほとんど知っているが、ホンソメワケベラについては知っている児童はいなかった。

(2) 単元及び教材について

上記のような児童の実態を受けて、本教材で指導したい内容は「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」である。

本単元「だいじなところに気をつけて読もう」は、海の生き物たちが互いに役立って暮らしていることを、事柄の順序を考えながら読み取り、その後に読み取ったことを生かして、読書活動や表現活動を通して主体的に学習していこうとする態度や、確かに読む力を育てていくことをねらいとしている。

本教材「サンゴの海の生きものたち」は、日頃なじみ深いとはいえない海の生き物の共生について述べている説明的文章である。教材文と共に使われている写真は鮮明であり、児童にとっては難しい「共生」についての学習を進める上で役に立つと思われる。この教材は典型的な説明文の形式を持ち、4つの部分で構成されている。

文章構成は「はじめ」の問題提示、「なか1・なか2」は具体例、「おわり」でまとめという順序になっているため、その事柄の順序を捉えながらかわり合いを考えさせることで、確かに読み取る力を育成することができると思う。

最後に「海の生きもの新聞」を作ることを知らせることで、目的意識をもって学習を進め、海の生き物の特徴や関わり合いについて調べ、挿絵に説明的文章を加えた海の生きもの新聞を作り、表現力を培うことができる単元だと思われる。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、「生き物の特徴」と「かかわり合い」を読みとらせるために、主語と述語の関係に注意して読む、問いと関連づけて読む、写真と文を照らし合わせて読むことが大切である。

学習計画の第一次の段階では、海の写真を見たり、「スイミー」を思い出したりして海の生き物についてのイメージを膨らませておく。そして、四つのまとまりに分け、おおまかな文章構成をつかませ、学習の見通しをもたせたいと思う。

第二次の段階では、「イソギンチャクとクマノミ」「ホンソメワケベラと大きな魚」の関わり合いを読み取るために、読みの手がかりを使うなどして、言葉や文にサイドラインを引かせたり、写真を見たりしてまとめることにより内容の大体を捉えることができる考える。

第三次の段階では「海の生きものカード」を作ることで、他の生き物に目を向け、読書活動への意欲を喚起する活動につなげたい。

仮説に関わって、仮説①「課題を明確にする工夫」として、問いの文から「生き物の特徴」と「かかわり合い」を意識させた、単元全体のねらいを知らせるとともに、学習の見通しをしっかりとせたいと考える。

仮説②「自分で読み進める工夫」として、読みの手がかり（体の特徴・お互いに役立っていること）に沿って、それぞれの生き物たちの関わり合いの分かる語句や理由の記述を見つけ出す活動を行い、読み取り後の感想やまとめの文をペアや全体で交流させ、互いの良さを認め合う場としたい。

仮説③「言語能力を高める工夫」としては、ワークシートに読み取ったことをまとめる際や「海の生き物カード」を書くときに、習った漢字を使い、片仮名で書く語を文の中で使うことが出来るように注意させていきたい。

3 単元目標

[目標]

- ◎ 海の生き物たちがどのように関わり合っているかを読み取り、共生の仕組みの不思議に興味をもつ。
- いろいろな生き物について調べ、海の生き物カードを作って交流する。

[国語への関心・意欲・態度]

- ・海の生き物の共生や、説明文の組み立てに興味をもって読もうとしている。

[読むこと]

- ・「サンゴの海の生きものたち」が互いに役に立っていることを、事柄の順序を考えながら読む。(読むことイ)
- ・語や文のまとまりや内容、言葉の響きなどについて考えながら声に出して読む。(読むことエ)

[書くこと]

- ・海の生き物の本を読み、生き物の特徴や暮らしについて「海の生きものカード」を作る。(書くことイ)

[言語についての知識・理解・技能]

・片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使う。

(言語事項イ(ア))

4 指導計画と評価規準 (10時間 本時5/10)

次	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	書くこと	読むこと	言語事項
一 次	1	○ 海や魚の写真を 見て、サンゴの海 のイメージをもつ ○ 教材文を読み、 初めて知ったこと や驚いたこと疑問 に思ったことにつ いて感想をもつ。 ○ 新出漢字や語句 の意味を確認す る。	写真を見ながら 海に興味をもち、 イメージを膨らま せている。 (発言・ワークシ ート)		教材文から初 めて知ったこと や不思議だと思 ったことを発表 する。 (発言・ワーク シート)	新出漢 字や片仮 名を正し く読んだ り書いた りしてい る。 (ワーク シート)
	2	○ 全文を声に出し て読み、学習の計 画を立てる。	学習の見通しを 立てることを知 り、学習に取り組 もうとしている。 (態度)		写真をもとに 大体の学習の見 通しを捉えてい る。(発言)	
二 次	3	○ イソギンチャク とクマノミのかか わり合いを読みと る。	それぞれの生き 物に興味を持ち、 進んで学習に取り 組もうとする。 (発言・ワークシ ート)	それぞれ の生き物の 特徴や関わ りについて 読みとった ことをまと めて書く。 (ワークシ ート)	イソギンチャ クの触手とクマ ノミの出す音の 意味を正しく読 み取っている。 (発言・ワーク シート)	
	4	○ イソギンチャク とクマノミのかか わり合いをまとめ る。			イソギンチャ クとクマノミが お互いに守り合 っていることを	

				読み取っている (発言・ワーク シート)。		
	5 (本 時)	○ ホンソメワケベ ラと大きな魚との かかわり合いにつ いて読み取る。		ホンソメワケ ベラと大きな魚 のかかわり合い を読みとってい る。 (発言・ワーク シート)		
	6	○ 「サンゴの海の 生きものたち」の かかわり合いにつ いてまとめる。		かかわり合っ ている生き物の特 徴を知り、互い に役立っている ことを読み取っ ている。		
三 次	7	○ 海の生き物カー ドを書く目的で本 を読み、書きたい 生き物を決める。	海の生き物につ いて感想や疑問、 さらに知りたいこ とをあげ、他の生 き物を調べていこ うとする意欲をも つ。(発言)	かかわり 合いの不思 議さやすば らしさにつ いて感じた ことをまと めて書く。 (ワークシ ート)	必要な情報を 読み取り、自分 の感想をもちな がら読む。 (発言・ワーク シート)	片仮名 や「何が どうす る。」 に気をつ けてい る。 (ワーク シート)
	8 ・ 9	○ 海の生き物カー ドを作る。				
	10	○ グループで海の 生き物カードを交 換し、読み合う。	発表したり、感 想を交流する中で 友達の文章のよさ を見つけようとし ている。 (発言)	友達の文 章のよさを 感想カード に書いてい る。(ワー クシート)		

5 本時の指導

(1) 目標

ホンソメワケベラと大きな魚たちのかかわり合いを読み取り、それぞれの立場から文に書くことができる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

具体的評価規準 評価の観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手だて
ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読み取り、それぞれの立場から、文を書くことができる。	ホンソメワケベラと大きな魚の、かかわり合いが分かるように自分の考えを入れて文を書いている。	言葉や文をもとにお互いのかかわりが分かるように文にしている。	写真や文などから分かることを手がかりに、言葉や文から見つけさせる。

(3) 展開 (5 / 10)

段階	学習活動	支援・留意点 (・) 評価 (*)
つかむ 8分	<p>1 学習課題の確認</p> <p>① 本時の学習課題の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて考えよう。</p> </div> <p>② 読みの手がかりの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体のようす ・魚たちのかかわり合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習の活動を振り返りながら本時の学習のめあてを確認をする。 ・読みの手がかりを通して、学習を進めていくことを確認する。 ・ホンソメワケベラの体の特徴や小ささなども確認する。
ふかめる	<p>2 学習場面の音読</p> <p>音読をする。 指名読み</p> <p>3 学習課題の解決</p> <p>① 課題解決のための読みの手がかりや挿絵などから、体の特徴やかかわり合いについて考える。</p> <p>ホンソメワケベラについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るい青色、黒いすじ ・口の中や体の虫を食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・語や文のまとまりに気を付けて、音読させる。 ・それぞれの事柄について書いてある文にサイドラインを引かせたり、主語と述語・接続語・文末表現について着目できるようにさせる。

32分	<p>・そうじ魚。</p> <p>大きな魚について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口や体のそうじをしてもらう ・そうじをしてくれるのを知っている。 <p>② 本時の学習で大きな魚とホンソメワケベラのかかわり合いについて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで動作化したり、話したりして、互いの関わり合いを考える。 ・ホンソメワケベラと大きい魚になって考えたことを、吹き出しに記入する。 <div data-bbox="292 976 833 1288" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例</p> <p>ホンソメワケベラさん虫をとってくれるからぼくの口はきれいだよ。</p> <p>大きな魚さん、虫を食べさせてくれておなかいっぱいだよ。</p> </div>	<p>・「でも」の使い方を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真などを利用して意味をつかませる。 <div data-bbox="874 707 1347 1066" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ</p> <p>大きな魚はホンソメワケベラにそうじをしてもらう。</p> <p>ホンソメワケベラはそうじをしてとった虫が食べものになる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時で思ったことや感じたことを隣や全体で交流し合い認め合う場を作る。 <div data-bbox="863 1335 1347 1469" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※ 大きな魚とホンソメワケベラの気持ちになって、吹き出しに書いている。(ワークシート)</p> </div>
まとめる5分	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>① まとめの音読をする</p> <p>② 次時の学習の見通しをもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価させ、今日の学習について振り返る。

6 板書計画

まとめ	⑨ ⑧ ⑦ 本文	知っている。	そうじをしてくれるのを	口や体のそうじをしてみよう	大きな魚とのかかわり合い	そうじ魚	口の中や体の虫を食べる	ホンソメワケベラ	・体は十二センチメートル	・明るい青色の体・黒いすじ	体のようす 魚たちのかかわり合い	読みの手がかり	ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり 合いについて考えよう。	めあて	サングの海の生きものたち	もとかわ たつお
	写真															